

第2回目(10/10)ミニテスト

問1 児童虐待の種類と内容について誤った組み合わせはどれか。1つ選びなさい。

- a. 心理的虐待 — 言葉による脅かし、脅迫、子どもの自尊心を傷つけるような言動。
- b. 身体的虐待 — 子どもの面前で配偶者やその他の家族などに対し暴力をふるう。
- c. ネグレクト — 家に閉じ込める。重大な病気でも病院へ連れて行かない。
- d. 性的虐待 — 性器や性交を見せる。ポルノグラフィーの被写体等に子どもを強要する。
- e. 身体的虐待 — 子どもの身体に外傷が生じ、または生じる恐れのある暴行を加えること。

問2 誤った組み合わせはどれか。1つ選びなさい。

- a. 児童虐待 — 子どもの心身の成長及び人格形成に重大な影響を与える子どもに対する最も重大な権利侵害
- b. 児童相談所 — 児童の福祉を図っていくための中枢的役割を果たしている専門機関
- c. 社会的養護 — 保護者のない児童、被虐待児など家庭環境上養護を必要とする児童等に対し、公的な責任として、社会的に養護を行う。
- d. 里親養育 — 要養護児童に対する社会的養護の一翼を担う代替家庭による養護。
- e. 児童養護施設 — 軽度の情緒障害を有する児童を短期間入所させ、または保護者の下から通わせて、その情緒障害を治し、合わせて退所した者について相談その他の援助を行う。

問3 以下の日本の社会的養護に関する記載について、誤っているものを1つ選びなさい。

- a. 社会的養護を必要とする児童においては、障害等のある児童が増加している。
- b. 児童養護施設では、1舎当たり定員20人以上の「大舎制」が7割を占める。
- c. 日本の要保護児童の状況としては施設:里親の比率が9:1と欧米主要国に比べて里親委託率が低い。
- d. 里親委託率には自治体間格差がほとんどない。
- e. 施設ケア単位の小規模化、里親、ファミリーホームなど家庭的環境での社会的養護を目指す必要がある。

問4 児童虐待における1次、2次、3次予防について誤っている組み合わせを1つ選びなさい。

- a. 1次予防 — 虐待に関する講演会など啓発活動
- b. 1次予防 — 子育て支援サービス
- c. 2次予防 — 乳児家庭全戸訪問事業
- d. 2次予防 — 虐待防止キャンペーン
- e. 3次予防 — 社会的養護における子どもへの適切な対応